

温泉街を盛り上げる！女将がおすすすめ

美人の湯 月岡温泉 まち歩き

2013年に開湯百年を迎えたのを機に、温泉街に新スポットが次々と登場し、まちなみも装い新たに美しくなった月岡温泉。まち歩きの魅力を、「女将会」初代と2代目代表のお二人がご案内。

わくわく感あふれる 歩きたくなる温泉街

天然硫黄泉の「もっと美人になれる温泉」で知られる月岡温泉。県内でも「女将会」の活動が盛んで、その初代代表がホテル清風苑の樋口智子さん。2代目で現代表が月岡温泉摩周の石塚恵子さんだ。お二人がまず紹介してくれたのが、蔵元とよむにプロデュースした地酒「純米吟醸 女将の酒 いとしげ」。「低アルコールですっきりとした飲みやすさ、純米吟醸酒です」と樋口さん。女将会では月岡温泉の湯を使ったスキンケアシリーズも考案。県全体で取り組む「女将会発案スイーツ巡り」では、地元わくわくファームにある中野牧場のジエラトを使ったスイーツを提供している。

いる。スイーツの取り組みには、「温泉街を巡り、歩いてほしい」という思いが込められている。「温泉街が美しくなければ魅力的でない」と、2013年の開湯百年を機に、温泉の若手経営者たちが会社を立ち上げ、温泉街の空き店舗に日本酒や米、発酵食品などの体験スポットを次々に開店。「今では5つの店ができました。ぜひ立ち寄り、体験してみてください」と石塚さん。壁やバス停を黒や茶で統一したり、通りを石畳に変えたり、月岡芸妓の着物を活用した行燈を軒下に吊るしたり、さまざまな取り組みで温泉街が生まれ変わった。宿ではまち歩き用の浴衣も用意。お気に入りの浴衣を着て店を巡り、温泉饅頭を食べ、足湯で癒される。プレミアムなまち歩きを楽しもう。

酒蔵とコラボした地酒は今春リニューアルしました！

温泉を使ったミルクローションは お肌がすべすべになりますよ



ホテル清風苑 女将 樋口 智子さん 月岡温泉 摩周 女将 石塚 恵子さん

福島の本郷焼のカップで心地いいブレイクタイム cotori cafe

店長の渡邊智恵美さん家族は福島出身。温泉街のこの場所が気に入り、カフェ&雑貨店をオープン。本郷焼の樹ノ音工房のカップが素敵。10食限定の甘豚のシチューランチ1,280円などが味わえる。新発田市月岡温泉552-60 TEL.0254-20-7527 営/10:00~18:00 休/水曜(不定休あり) www.cotoricafe.com



アールグレイ(ポット)600円。本郷焼の食器やアクセサリ、作家ものバッグなどを販売。手作りチーズケーキも人気

お気に入りの3杯を味わい ほろ酔い気分温泉街巡り

新潟地酒 premium SAKE 蔵KURA 県内全酒蔵の地酒の中から、500円でお猪口3杯を味わえる。店内に並ぶ酒はすべて購入可能。季節や数量限定酒もあるので、スタッフに聞いてみよう。酒以外の土産品も並ぶ。新発田市月岡温泉566-5 TEL.0254-32-3151 営/9:00~18:00(12:00~13:00休憩) 休/無休 www.tsukiokaonsen.gr.jp/kura



県内89蔵の地酒が並ぶ。500円でおはじき3枚が渡され、お気に入りの酒の番号を伝えておはじきとお猪口1杯を交換(2個で1杯のものもあり)。カップ酒や、試飲以外の酒も販売



足湯&飲む温泉を体験

月岡温泉街には足湯と、硫黄泉の飲泉スポットがある。どちらも無料で楽しめる。



足湯 あしゆ 湯足美(ゆたび)

無料で、気軽に足湯を楽しむことができる。演舞場を囲む回廊式になっていて、回廊中央には手湯もある。タオルも販売。利用時間/8:00~22:00



飲む温泉 源泉の杜

月岡温泉発祥の地で、縁結びのパワースポット。手湯や願掛け像のほか、硫黄泉を飲むこともできるが味は強烈。覚悟して味わおう。利用時間/8:00~22:00

月岡温泉の「温泉まんじゅう」徹底研究

温泉街には3店の温泉まんじゅう店がある。代表的な黒糖まんじゅうを比べてみよう。

まるまた
皮が薄く、上品な味わいのあんが特徴。こしあん、つぶあんのほか、うぐいすあんの蓬まんなど常時約10種類あり、セルフで好みのものを詰めることができる。
月岡まんじゅう(こしあん) 1個90円
新発田市月岡温泉584 TEL.0254-32-2417 営/8:00~19:00 休/無休

結城堂 本店
食べ応えのある皮で、コクのあるあん。黒糖まんじゅうはつぶしあんの「月岡饅頭」と、こしあんの「湯美人まんじゅう」がある。かりんとまんじゅうも人気。
月岡饅頭(つぶしあん) 1個120円
新発田市月岡温泉641-6 TEL.0254-32-2602 営/8:00~18:30 休/無休

元祖月岡屋
もっちりとした皮に甘さ控えめなあんが特徴。看板商品の「元祖月岡まんじゅう」はこしあん、つぶあん、白あん、きみあんの4種類。パイまんじゅうや大福まんじゅうも人気。
元祖月岡まんじゅう(こしあん) 1個90円
新発田市月岡温泉563-1 TEL.0254-32-2610 営/6:30~18:30 休/無休(元旦のみ)

温泉街のランチは 寿司と地酒で決まり!

一朗鮎
創業1970(昭和45)年。地元産コシヒカリと白身魚やイカなど旬の魚介を使った握りちらし寿司を提供。自家製の漬物や、その日の仕入れで決まる一品料理も絶品。地酒と味わいたい。
新発田市月岡温泉564-8 TEL.0254-32-2526 営/11:30~13:30、17:00~21:00 休/月・木曜



生ちらし(並)1,512円、生寿司(並)1,404円。定番酒は「麒麟山 伝辛」1合540円。「亀の王」「生辛」「無冠帝」などもある

●問い合わせは TEL.0254-32-3151 www.tsukiokaonsen.gr.jp
月岡温泉観光協会 ●月岡温泉街への交通は日本海東北車道・豊栄東港ICから車で約15分

ホテル清風苑
2018年7月に、癒しのプライベートタイムが楽しめる。趣の異なる個性的な7室を集めたラグジュアリースペース「GENJI香」をオープン。こだわりあふれる食事も部屋で楽しめる。
新発田市月岡温泉278-2 TEL.0254-32-2000 www.seifuen.com
※「にいがた地酒の宿」プランはP14



月岡温泉 摩周
「まち歩きをする浴衣は本物を」と、日本橋の老舗「竺仙(ちくせん)」にオーダーメイド。利用料(1,080円)には540円の商品券が付き、温泉街の買い物に使える。子ども用もある。
新発田市月岡温泉654-1 TEL.0254-32-2131 www.masyuu.co.jp
※「にいがた地酒の宿」プランはP14

